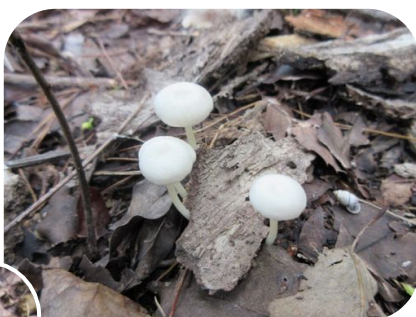


ありまふじ里山だより

Vol. 7

『ありまふじ里山だより』では、棚田里山エリアの自然の様子や里山保全に向けた取り組みについてご紹介します。Vol. 7は梅雨の真っ只中、里山の自然の様子についてお届けします。



キノコの森

今年の梅雨は記録的な長雨となっています。毎日のように雨がちな天気が続き、気分までどんよりしてしまいます。でも、そんなジメジメした季節だからこそ楽しめるものがキノコ！森を歩けば、大小様々、色も形も様々なキノコに出会えます。

足元に目をやると、株元や落ち葉の間からニョキっと生えたキノコの数々。なかにはカビに侵されてしまったキノコも発見。カビの細く繊細な菌糸が花火のように広がる様には、自然の造形美を感じずにはられません。(右下)

森の異変、ナラ枯れ!?

里山散策コースを歩いていると、ん？何か違和感を感じます。よく見ると、あたり一面が青々した葉で覆われています。先日の強風で落ちたにしては多すぎる。

よく観察すると、すぐそばには葉っぱがすっかり落ちてしまい、枝が大きく露わになってしまったコナラの木。どうやらナラ枯れとおぼしき病気のようなのです。

これほど一気に落葉するとは驚きです。これ以上広がらないことを祈るばかりです。

